



玄関脇に設置されたスマリ対応の「e-COMBO LIGHT」。スマリアプリで二次元コードを読み取ると宅配業者に連絡が届き、非対面での発送が可能

パナソニック「e-COMBO LIGHT」  
**SMARI・COMBO 実証実験**  
自宅から荷物の発送が可能な宅配ボックスを開発

**自宅からの発送ニーズをつかむため  
荷物の受発送実証実験を実施**

2035年には物流のEC化率が30%に高まり、宅配便は約88億個になると言われる中、再配達が社会問題となっている。この課題を解決するのが、宅配ボックス「e-COMBO LIGHT」スマリ対応タイプで、受け取りだけでなく発送にも対応。フリーマーケットへの出品やネットショッピングの返品、サブスクの返品配送なども可能になる。2023年2~4月にかけて、パナソニックハウジングソリューションズ株式会社は三菱商事株式会社と、自宅の宅配ボックスによる生活利便性向上の検証を行った。これは、三菱商事がコンビニなどで実施している、EC

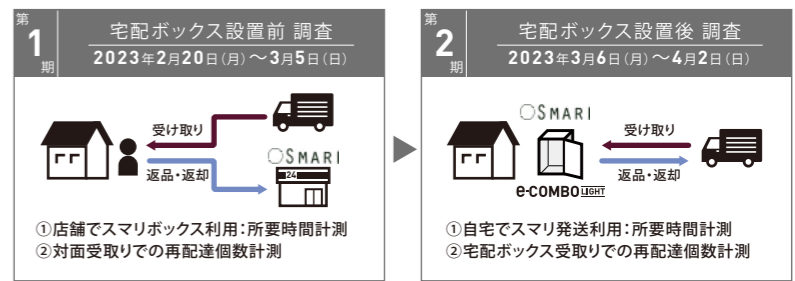


実証実験で各戸に置かれた「e-COMBO LIGHT」スマリ対応タイプ

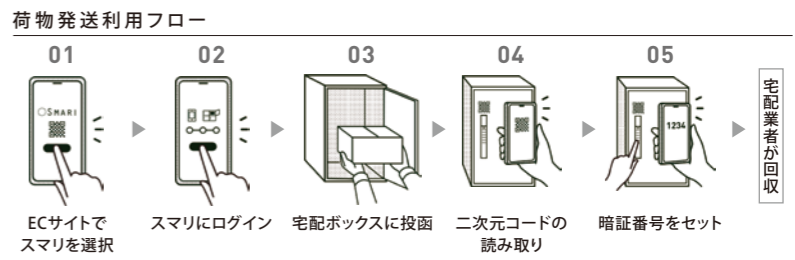
商品やレンタル商品の発送・返却・返品サービス「スマリサービス」を自宅の宅配ボックスでも利用できるようにするもの。23区で最も戸建率が高い東京都世田谷区の戸建住宅31世帯で、店舗での利用（第1期）と自宅での利用（第2期）に分け、所要時間や再配達個数計測を行い、モニターに対してのWEBアンケートも実施した。その結果、宅配ボックスの非対面や、指定した時間に待機しなくてよい点が評価され、特に小さな子がいる世帯からの自宅発送が好評。発送時間を75%削減でき、再配達率は57%削減できた。この結果、「e-COMBO LIGHT」が商品化され、2024年夏にはメルカリの発送にも対応する予定。

**SMARI・COMBO 実証実験**

対象 / 東京都世田谷区 戸建住宅31世帯  
主催 / 三菱商事株式会社、パナソニックハウジングソリューションズ株式会社  
実施期間 / 2023年2~4月



モニターに対して配送物についての記録を専用WEB記録フォームを用いて実施（第1期は2週間、第2期は1か月間）



実証実験結果（2023年2~4月、本実証実験のモニター31名による調査より）



- 【利用者の声】
- 自宅から簡単に発送可能。特に、子どもを伴った外出で、重い荷物を持ち運ばなくてよい
  - 24時間スマートフォンで発送手続きが可能。発送の時間帯を選ばない点が特に好評
  - 雨天での発送が負担がなくてよい。また、置き配による荷物濡れがなく、防犯面でも安心
  - 配達指定時間のために待機しなくてよい。対面しなくてよいので防犯にもなる

オフィス用には「マルチロッカー<sup>®</sup>」



**オフィス環境における  
荷物受け渡しの課題を解決**

フリーアドレス制やリモートワークが多くなったオフィスの課題は、荷物の受け渡し。オフィス用マルチロッカーはサイズの異なるBOXを組み合わせ、着荷時にはメールでお知らせ。時間や場所に縛られない働き方をサポート。

詳しい特長や動画をご覧いただけます

e-COMBO LIGHT スマリ対応タイプ

オフィス用 マルチロッカー<sup>®</sup>